



平成26年1月24日
日本原子力発電株式会社

当社コメント

(原子力規制委員会 有識者会合による敦賀発電所敷地内破碎帯現地調査について)

原子力規制委員会の島崎委員長代理並びに有識者の先生方には、今週の20、21日及び23、24日の2回に分けて、当社の敦賀発電所敷地内破碎帯について現地調査を行って頂いた。当社としても全力を挙げて真摯に対応しており、有識者の先生方には十分に調査して頂けたものと考えている。なお、今回の現地調査の過程で有識者の方々からアドバイスを頂いた、資料への説明の補充などについては早急に整理し今後の議論の場でお答えしたいと考えている。

原子力規制委員会におかれては、できる限り早く有識者と当社による議論の場を設けて頂き、K断層とD-1破碎帯に係る「活動年代」と「連続性」という2つの論点について、事実とデータに基づき科学的、技術的な観点から議論を尽くさせて頂きたいと考えている。当社としては、これに会社を挙げて全力で取り組みたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

以 上